



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社ジズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://jinsholdings.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長000（氏名） 田中 亮
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員IR室長（氏名） 中谷 元明（TEL）03-6890-4800
 半期報告書提出予定日 2026年4月10日 配当支払開始予定日 2026年5月11日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	50,512	12.7	4,932	△4.3	4,899	△6.2	3,393	△10.3
2025年8月期中間期	44,832	17.9	5,155	101.1	5,221	100.9	3,785	143.2

（注）包括利益 2026年8月期中間期 3,520百万円（△3.9%） 2025年8月期中間期 3,664百万円（162.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	145.36	—
2025年8月期中間期	162.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	60,021	33,885	56.5
2025年8月期	57,866	31,742	54.9

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 33,885百万円 2025年8月期 31,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	50.00	—	59.00	109.00
2026年8月期	—	47.00			
2026年8月期（予想）			—	68.00	115.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,392	13.6	12,772	5.6	12,679	4.6	8,623	3.5	369.39

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	23,980,000株	2025年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	634,588株	2025年8月期	638,379株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	23,344,780株	2025年8月期中間期	23,340,649株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定にあたり控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2026年4月10日（金）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年9月1日～2026年2月28日)における国内経済については、国内景気が、米国の通商政策による影響がみられるものの、緩やかな回復傾向にあります。一方で、依然として、インフレによる個人消費への影響は大きく、消費者マインドの下振れリスクには留意すべき状況が続いています。

世界経済については、米国の通商政策が与える不透明感を背景に、各国経済への影響が懸念されております。また、中東情勢の影響による原油価格の高騰が懸念され、今後の世界経済への影響は、依然として不透明な状況が継続する見通しです。生活必需品や本質的価値を伴う商品への選別がより鮮明になっております。

このような市場環境の中、当社グループのアイウェア事業では、経営課題として掲げているイノベーティブなプロダクト開発の強化及び店舗展開を継続的に推進しています。

商品開発につきましては、お客様のニーズや利用シーンに応じて、機能性とファッション性を両立する商品開発に取り組んでおります。企画・生産・販売を一貫して自社で行うグローバルSPAモデルの更なる進化を深めております。

店舗戦略につきましては、市場環境に応じてお客様の利便性を考慮した立地への出店を推進し、国内では、ショッピングモールや駅ビル、ロードサイド店舗への出店をお客様と地域の特性に合わせ展開しております。インバウンド需要へ対応する「最短30分での商品の受け渡し」や「AIを活用したレンズ診断」など、新しい顧客体験の創造を実現しております。

また、2026年3月には、東京・銀座に初のグローバル旗艦店「JINS銀座店」、2026年4月には当社最大の旗艦店「JINS新宿店」をオープンいたします。銀座店では、「世界No. 1のアイウェアブランド」を実現するため、国産の最高品質のアイウェアを提供できるブランドであることを国内外に向けて発信してまいります。また、新宿店は、「ぜんぶ、ここにある」をコンセプトに、地上1階から3階までの計3フロア、約1,000㎡の広さに、JINS最大の商品ラインナップを取り揃えます。大型旗艦店の立ち上げにつきましては、戦略的な先行投資を実施しております。

海外では、日本の店舗モデルをベースに、地域ごとの市場環境や競合状況に合わせた店舗づくりを進めました。当社は原則として、自社の子会社を通じた直営運営を行うこととしており、外部環境の変化に対しても機動的なコントロールに加え、海外拠点における透明性の確保と財務規律性の維持をしております。これらを基盤とした的確な店舗・システム投資を実施し、アイウェアを通じた新しい価値の創出をグローバルで展開しています。

今後とも、店舗でのオペレーション強化に加え、市場環境を踏まえた出店戦略の実行、新規国への展開を行い、各国各地域でスピード感ある成長が出来るよう取り組んでまいります。

店舗展開につきましては、当中間連結会計期間末における店舗数は、国内560店舗、海外265店舗(中国155店舗、台湾93店舗、香港11店舗、米国6店舗)の合計825店舗となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は、主に国内アイウェア事業の既存店売上高の増加により50,512百万円(前年同期比12.7%増)となりました。営業利益は4,932百万円(前年同期比4.3%減)、経常利益は4,899百万円(前年同期比6.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3,393百万円(前年同期比10.3%減)となり、増収減益となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	構成比	前年同期比増減
国内アイウェア事業	38,248百万円	75.7%	10.0%
海外アイウェア事業	12,263百万円	24.3%	22.0%
合計	50,512百万円	100.0%	12.7%

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、出店が加速する中、継続的な販促キャンペーン活動により、レンズ・フレームともに高単価商品が好調だったことに加え、一式単価が伸長したことにより売上を牽引し、業績は引き続き順調に推移しております。

店舗展開につきましては、国内店舗数は560店舗(出店23店舗、退店3店舗)となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高38,248百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益3,744百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国においては、事業構造改革の取り組みが進んでおり、業績は堅調に推移しております。

台湾においては、業績が順調に推移する中、更なる出店を加速させてまいります。

香港においては、景気の低迷や為替の影響が継続しておりますが、引き続き足元の構造改革を進めてまいります。

米国においては、新規店舗が好調であり、業績が大きく改善しております。

店舗展開につきましては、中国155店舗(出店7店舗、退店8店舗)、台湾93店舗(出店15店舗、退店なし)、香港11店舗(出店1店舗、退店なし)、米国6店舗(出店1店舗、退店なし)の合計265店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高12,263百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益1,188百万円(前年同期比183.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当中間連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	2025年8月期末 (2025年8月31日)	当中間連結 会計期間末 (2026年2月28日)	増減	増減率(%)
総資産	57,866	60,021	2,154	3.7
負債	26,124	26,135	11	0.0
純資産	31,742	33,885	2,143	6.8

(イ)資産

流動資産は、26,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,546百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品が1,294百万円増加したものの、売掛金が1,336百万円、現金及び預金が3,158百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、33,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,700百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い、建物及び構築物等の有形固定資産が1,499百万円増加したこと、無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が2,460百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、60,021百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,154百万円増加いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、20,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ858百万円減少いたしました。

これは主に、買掛金が582百万円増加したものの、納税により未払法人税等が996百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、5,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ869百万円増加いたしました。

これは主に、その他に含まれる長期未払金が827百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、26,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、33,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,143百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益3,393百万円を計上したものの、配当金の支払いにより1,394百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期通期の業績予想につきましては、本日(2026年4月10日)発表いたしました「2026年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,977	8,819
売掛金	7,968	6,631
商品及び製品	5,838	7,132
仕掛品	31	55
原材料及び貯蔵品	495	674
その他	2,339	2,790
流動資産合計	28,650	26,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,796	11,981
その他(純額)	1,934	2,248
有形固定資産合計	12,731	14,230
無形固定資産		
投資その他の資産	5,677	8,563
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,913	6,096
その他	4,894	5,026
投資その他の資産合計	10,807	11,123
固定資産合計	29,216	33,916
資産合計	57,866	60,021

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,178	3,761
短期借入金	5,449	4,975
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払金及び未払費用	7,905	8,260
未払法人税等	2,393	1,397
賞与引当金	302	265
商品保証引当金	322	282
事業構造改革費用引当金	43	36
その他	2,111	1,869
流動負債合計	21,717	20,858
固定負債		
長期借入金	14	10
株式給付引当金	153	129
資産除去債務	1,321	1,375
その他の引当金	233	219
その他	2,683	3,540
固定負債合計	4,406	5,276
負債合計	26,124	26,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,201	3,201
利益剰余金	28,996	30,995
自己株式	△4,033	△4,016
株主資本合計	31,367	33,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	55
為替換算調整勘定	308	446
その他の包括利益累計額合計	375	502
純資産合計	31,742	33,885
負債純資産合計	57,866	60,021

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	44,832	50,512
売上原価	9,737	10,627
売上総利益	35,094	39,884
販売費及び一般管理費	29,939	34,951
営業利益	5,155	4,932
営業外収益		
受取利息	15	11
為替差益	77	71
補助金収入	28	1
その他	43	55
営業外収益合計	164	139
営業外費用		
支払利息	93	93
和解金	—	40
その他	5	38
営業外費用合計	99	172
経常利益	5,221	4,899
特別利益		
投資有価証券売却益	442	—
特別利益合計	442	—
特別損失		
固定資産除却損	101	175
店舗閉鎖損失	6	20
減損損失	—	93
特別損失合計	107	289
税金等調整前中間純利益	5,556	4,610
法人税、住民税及び事業税	1,659	1,125
法人税等調整額	111	91
法人税等合計	1,771	1,216
中間純利益	3,785	3,393
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	3,785	3,393

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	3,785	3,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△11
為替換算調整勘定	△112	138
その他の包括利益合計	△120	127
中間包括利益	3,664	3,520
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,664	3,520
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	34,781	10,051	44,832	—	44,832
外部顧客への売上高	34,781	10,051	44,832	—	44,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	48	645	△645	—
計	35,377	10,100	45,477	△645	44,832
セグメント利益	4,736	418	5,155	—	5,155

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当中間連結会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注)
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	38,248	12,263	50,512	—	50,512
外部顧客への売上高	38,248	12,263	50,512	—	50,512
セグメント間の内部 売上高又は振替高	715	58	773	△773	—
計	38,964	12,322	51,286	△773	50,512
セグメント利益	3,744	1,188	4,932	—	4,932

(注) セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内アイウェア事業」セグメントにおいて、減損損失93百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。